

新滋賀県モデル「CAN-DOリスト(令和4年度改訂版)」

	理解（受信・Input）		表現（発信・Output）		
	聞くこと	読むこと	話すこと		書くこと
			やり取り	発表	
高等学校	社会的な話題について、話の展開に注意しながら必要な情報を聞き取り、概要や要点、詳細を目的に応じて把握することができる。 （統）聞き取った内容について質疑応答をしたり、意見や感想を述べたりすることができる。	社会的な話題について、文章の展開に注意しながら必要な情報を読み取り、概要や要点、詳細を目的に応じて捉えることができる。 （統）読み取った内容について、まとめた内容を基に、解決策を考え、話したり書いたりして伝え合うことができる。	社会的な話題について、聞いたり読んだりしたことを基に、多様な語句や文を目的や場面、状況などに応じて適切に用いて、情報や考え、課題の解決策などを論理的に詳しく話して伝え合うことができる。 （統）やり取りした内容を踏まえて、自分の考えを整理して発表したり、文章を書いたりすることができる。	社会的な話題について、聞いたり読んだりしたことを基に、多様な語句や文を目的や場面、状況などに応じて適切に用いて、情報や考え、気持ちなどを論理的に詳しく話して伝えることができる。 （統）発表した内容について、質疑応答をしたり、意見や感想を伝え合ったりすることができる。	社会的な話題について、聞いたり読んだりしたことを基に、多様な語句や文を目的や場面、状況などに応じて適切に用いて、情報や考え、気持ちなどを複数の段落を用いて論理的に詳しく書いて伝えることができる。 （統）書いた内容を読み合い、質疑応答をしたり、意見や感想を伝え合ったりすることができる。
英語コミュニケーションⅢ	日常的な話題について、必要な情報を聞き取り、話の展開や話し手の意図を把握することができる。 （統）聞き取った内容について質疑応答をしたり、意見や感想を述べたりすることができる。	日常的な話題について、必要な情報を読み取り、文章の展開や書き手の意図を把握することができる。 （統）読み取った内容について、質疑応答をしたり、意見や感想を伝え合ったりすることができる。	日常的な話題について、多様な語句や文を目的や場面、状況などに応じて適切に用いて、情報や考え、気持ちなどを詳しく話して伝え合うやり取りを続け、会話を発展させることができる。 （統）やり取りした内容を整理して発表したり、文章を書いたりすることができる。	日常的な話題について、多様な語句や文を目的や場面、状況などに応じて適切に用いて、情報や考え、気持ちなどを論理的に詳しく話して伝えることができる。 （統）発表した内容について、質疑応答をしたり、意見や感想を伝え合ったりすることができる。	日常的な話題について、多様な語句や文を目的や場面、状況などに応じて適切に用いて、情報や考え、気持ちなどを複数の段落を用いて論理的に詳しく書いて伝えることができる。 （統）書いた内容を読み合い、質疑応答をしたり、意見や感想を伝え合ったりすることができる。
高等学校	社会的な話題について、話される速さや、使用される語句や文、情報量などにおいて、一定の支援を活用すれば、必要な情報を聞き取り、概要や要点、詳細を目的に応じて捉えることができる。 （統）聞き取った内容を基に考えをまとめ、話したり書いたりして伝え合うことができる。	社会的な話題について、使用される語句や文、情報量などにおいて、一定の支援を活用すれば、必要な情報を読み取り、概要や要点、詳細を目的に応じて捉えることができる。 （統）読み取った内容を基に考えをまとめ、話したり書いたりして伝え合うことができる。	社会的な話題について、使用する語句や文、対話の展開などにおいて、一定の支援を活用すれば、聞いたり読んだりしたことを基に、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理的に注意して詳しく話して伝え合うことができる。 （統）やり取りした内容を踏まえて、自分の考えを整理して発表したり、文章を書いたりすることができる。	社会的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、一定の支援を活用すれば、聞いたり読んだりしたことを基に、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理的に注意して詳しく話して伝えることができる。 （統）発表した内容について、質疑応答をしたり、意見や感想を伝え合ったりすることができる。	社会的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、一定の支援を活用すれば、聞いたり読んだりしたことを基に、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理的に注意して複数の段落を用いて詳しく書いて伝えることができる。 （統）書いた内容を読み合い、質疑応答をしたり、意見や感想を伝え合ったりすることができる。
英語コミュニケーションⅡ	日常的な話題について、話される速さや、使用される語句や文、情報量などにおいて、一定の支援を活用すれば、必要な情報を聞き取り、話の展開や話し手の意図を把握することができる。 （統）聞き取った内容を基に考えをまとめ、話したり書いたりして伝え合うことができる。	日常的な話題について、使用される語句や文、情報量などにおいて、一定の支援を活用すれば、必要な情報を読み取り、文章の展開や書き手の意図を把握することができる。 （統）読み取った内容を基に考えをまとめ、話したり書いたりして伝え合うことができる。	日常的な話題について、使用する語句や文、対話の展開などにおいて、一定の支援を活用すれば、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを詳しく話して伝え合うやり取りを続けることができる。 （統）やり取りした内容を整理して発表したり、文章を書いたりすることができる。	日常的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、一定の支援を活用すれば、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理的に注意して詳しく話して伝えることができる。 （統）発表した内容について、質疑応答をしたり、意見や感想を伝え合ったりすることができる。	日常的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、一定の支援を活用すれば、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理的に注意して複数の段落を用いて詳しく書いて伝えることができる。 （統）書いた内容を読み合い、質疑応答をしたり、意見や感想を伝え合ったりすることができる。
高等学校	社会的な話題について、話される速さや、使用される語句や文、情報量などにおいて、多くの支援を活用すれば、必要な情報を聞き取り、概要や要点を目的に応じて捉えることができる。 （統）聞き取った内容を話したり書いたりして伝え合うことができる。	社会的な話題について、使用される語句や文、情報量などにおいて、多くの支援を活用すれば、必要な情報を読み取り、概要や要点を目的に応じて捉えることができる。 （統）読み取った内容を話したり書いたりして伝え合うことができる。	社会的な話題について、使用する語句や文、対話の展開などにおいて、多くの支援を活用すれば、聞いたり読んだりしたことを基に、情報や考え、気持ちなどを論理的に注意して詳しく話して伝え合うことができる。 （統）やり取りした内容を踏まえて、自分の考えを整理して発表したり、文章を書いたりすることができる。	社会的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、多くの支援を活用すれば、聞いたり読んだりしたことを基に、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理的に注意して話して伝えることができる。 （統）発表した内容について、質疑応答をしたり、意見や感想を伝え合ったりすることができる。	社会的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、多くの支援を活用すれば、聞いたり読んだりしたことを基に、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理的に注意して書いて伝えることができる。 （統）書いた内容を読み合い、質疑応答をしたり、意見や感想を伝え合ったりすることができる。
英語コミュニケーションⅠ	日常的な話題について、話される速さや、使用される語句や文、情報量などにおいて、多くの支援を活用すれば、必要な情報を聞き取り、話し手の意図を把握することができる。 （統）聞き取った内容を話したり書いたりして伝え合うことができる。	日常的な話題について、使用される語句や文、情報量などにおいて、多くの支援を活用すれば、必要な情報を読み取り、書き手の意図を把握することができる。 （統）読み取った内容を話したり書いたりして伝え合うことができる。	日常的な話題について、使用する語句や文、対話の展開などにおいて、多くの支援を活用すれば、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを話して伝え合うやり取りを続けることができる。 （統）やり取りした内容を整理して発表したり、文章を書いたりすることができる。	日常的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、多くの支援を活用すれば、情報や考え、気持ちなどを論理的に注意して話して伝えることができる。 （統）発表した内容について、質疑応答をしたり、意見や感想を伝え合ったりすることができる。	日常的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、多くの支援を活用すれば、情報や考え、気持ちなどを論理的に注意して書いて伝えることができる。 （統）書いた内容を読み合い、質疑応答をしたり、意見や感想を伝え合ったりすることができる。
中学校	はっきりと話されれば、社会的な話題について、短い説明の要点を捉えることができる。	社会的な話題について、簡単な語句や文で書かれた短い文章の要点を捉えることができる。	社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことについて、考えたことや感じたこと、その理由などを、簡単な語句や文を用いて相手の意見に関わらせながら伝え合うことができる。	社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことについて、考えたことや感じたこと、その理由などを、簡単な語句や文を用いて話すことができる。	社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことについて、考えたことや感じたこと、その理由などを、簡単な語句や文を用いて書くことができる。
中学校	はっきりと話されれば、日常的な話題について、必要な情報を聞き取ったり、話の流れに意識を向けながら概要を捉えたりすることができる。	日常的な話題について、簡単な語句や文で書かれたものや短い文章から必要な情報を読み取ったり、段落のつながりに意識を向けながら概要を捉えたりすることができる。	日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ち、理由などを整理し、簡単な語句や文を用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりすることができる。	日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ち、理由などを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある内容を話すことができる。	日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ち、理由などを整理し、簡単な語句や文を用いて書くことができる。
中学校	はっきりと話されれば、日々の生活に関わる日常的な話題について、必要な情報を聞き取ったり、話の概要を捉えたりすることができる。	日々の生活に関わる日常的な話題について、簡単な語句や文で書かれたものや短い文章の必要な情報を読み取ったり、概要を捉えたりすることができる。	関心のある事柄について、簡単な語句や文を用いて即興で伝え合うことができる。	関心のある事柄について、簡単な語句や文を用いて即興で話すことができる。	関心のある事柄について、簡単な語句や文を用いて正確に書くことができる。
小学校	ゆっくりはっきりと話されれば、日常生活に関する身近で簡単な事柄について、具体的な情報を聞き取ったり、短い話の概要を捉えたりすることができる。	音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現について、それに関する絵や写真を参考にしながら意味が分かる。	自分や相手のこと及び身の回りの物に関する事柄について、簡単な語句や基本的な表現を用いてその場で質問をしたり質問に答えたりして、伝え合うことができる。	自分のことや身近で簡単な事柄について、伝えようとする内容を整理した上で、簡単な語句や基本的な表現を用いて話すことができる。	<ul style="list-style-type: none"> 語順を意識しながら音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を書き写すことができる。 自分のことや身近で簡単な事柄について、例文を参考に、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を用いて書くことができる。
小学校	ゆっくりはっきりと話されれば、自分のことや身近で簡単な事柄について、簡単な語句や基本的な表現を聞き取ることができる。	活字体で書かれた文字を識別し、その読み方を発音することができる。	日常生活に関する身近で簡単な事柄について、自分の考えや気持ちなどを、簡単な語句や基本的な表現を用いて伝え合うことができる。	日常生活に関する身近で簡単な事柄について、簡単な語句や基本的な表現を用いて話すことができる。	アルファベットの大文字、小文字を活字体で書くことができる。

※高等学校について、(統)は領域統合を行う際の目標です。
 ※高等学校については、令和4年度から年次進行で学習指導要領の改訂が実施されていることから、現段階では(案)となります。